

既存ダム等の効果 淀川水系 青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダム

○青蓮寺・室生・比奈知ダムが連携し、降雨予測や下流状況を踏まえ、特別防災操作※（空き容量確保・ピーク流量低減）を実施。

（空き容量確保）

（青蓮寺ダム）10月22日8時時点で総雨量が520mm以上に達するとの予測となり、事前放流（空き容量確保）を実施、さらに事前放流（更なる空き容量確保）を行い、ダム貯水位を下げ、約132万m³の空き容量を確保。

（室生ダム）10月22日11時時点で総雨量が450mm以上に達するとの予測となり、事前放流（空き容量確保）を実施、ダム貯水位を下げ、約65万m³の空き容量を確保。

（比奈知ダム）10月22日11時時点で総雨量が540mm以上に達するとの予測となり、事前放流（空き容量確保）を実施、ダム貯水位を下げ、約29万m³の空き容量を確保。

・3ダム合計、約226万m³の空き容量を確保。

（ピーク流量低減）

その後、下流の名張地点（名張市）で名張川の水位が上昇し、家屋浸水が発生する水位になることが想定されたため、今後の降雨予測から放流量を低減させてもダム水位が洪水時最高水位を越えないことを確認し、下流の被害軽減のため、特別に3ダムの放流量の低減を2回実施。

さらに、降雨予測で降雨のピークと降り終わりが確認でき、ダム水位も洪水時最高水位を超えないと判断されたことから、木津川や淀川本川の水位低下のため、特別に3ダムの放流量の低減を更に実施。

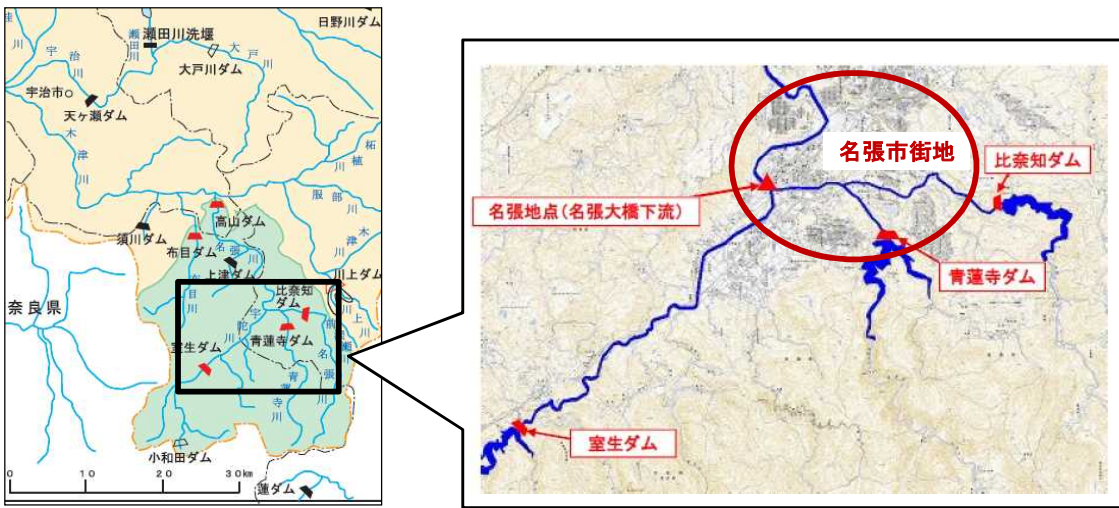
（効果）

・名張地点（名張市）で、約1.3m水位低減（本則操作：約0.9m低減、特別防災操作：約0.4m低減）

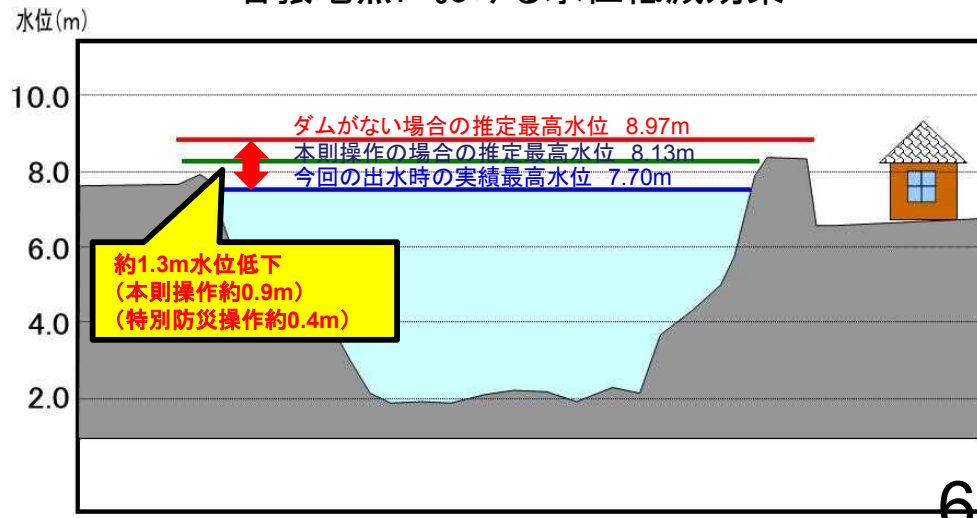
・一連の操作により、3ダムが無かった場合と比べ名張市街地の家屋浸水被害（約2200戸）を回避

※特別防災操作
 ・降雨予測を踏まえて空き容量確保をしたり、降雨予測や下流状況を踏まえ、ダム容量の範囲内で洪水調節可能な確認のうえピーク流量の低減を行う操作。
 ・本操作は上記の条件を満たす時にできる特別な操作であり必ず実施出来るものではありません。

青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダムと名張地点の位置図



名張地点における水位低減効果



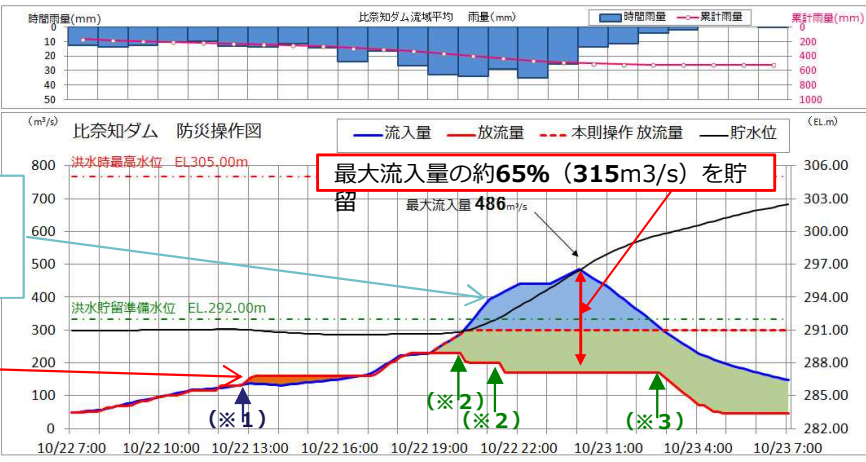
既存ダム等の効果 淀川水系 青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダム

比奈知ダム

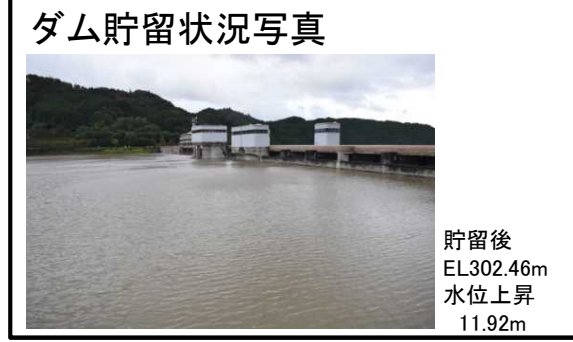
比奈知ダム上流域の総雨量
約522mm
最大流入量 486m³/s
最大放流量 231m³/s

ダムで貯め込んだ量
10月23日7時までに **783** 万m³
(261万m³ 本則操作)
(522万m³ 特別防災操作)

空き容量確保 **29**万m³
(事前放流)



- (※1) 事前放流開始 (特別防災操作)
(流入量より放流量を多くし、更なる空き容量を確保)
- (※2) 名張川の洪水防御のための操作開始
- (※3) 淀川三川(木津川、宇治川、桂川)合流地点の洪水防御のための操作開始

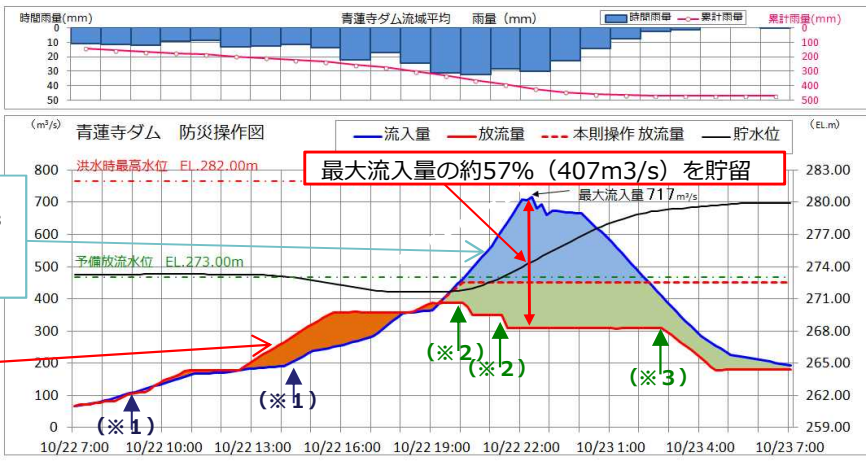


青蓮寺ダム

青蓮寺ダム上流域の総雨量
約470mm
最大流入量 717m³/s
最大放流量 387m³/s

ダムで貯め込んだ量
10月23日7時までに **741** 万m³
(334万m³ 本則操作)
(407万m³ 特別防災操作)

空き容量確保 **132**万m³
(事前放流)

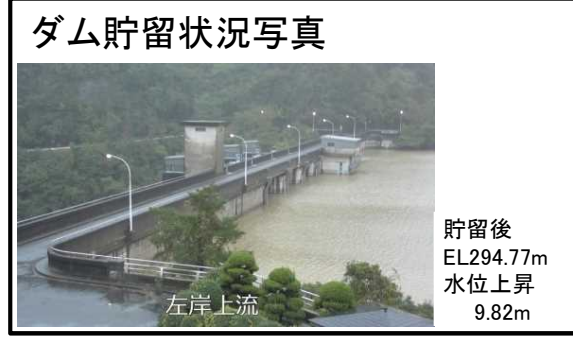
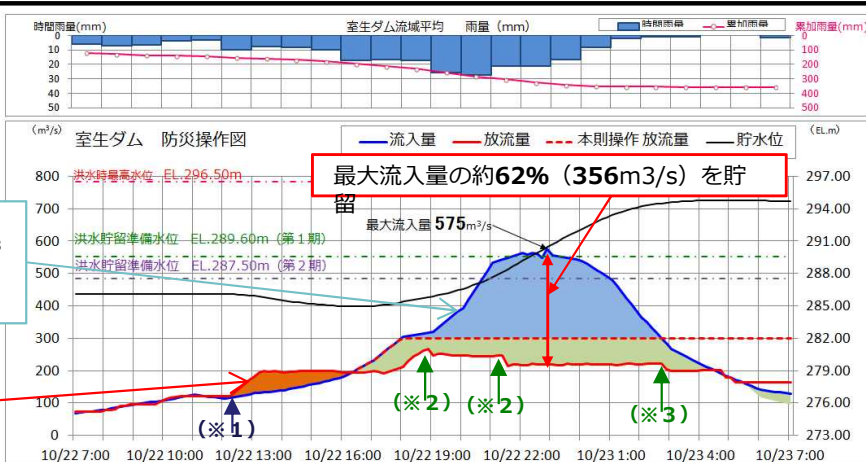


室生ダム

室生ダム上流域の総雨量
約357mm
最大流入量 575m³/s
最大放流量 267m³/s

ダムで貯め込んだ量
10月23日7時までに **755** 万m³
(481万m³ 本則操作)
(274万m³ 特別防災操作)

空き容量確保 **65**万m³
(事前放流)



※特別防災操作
・降雨予測を踏まえて空き容量確保をしたり、降雨予測や下流状況を踏まえ、ダム容量の範囲内で洪水調節可能か確認のうえピーク流量の低減を行う操作。
・本操作は上記の条件を満たす時にできる特別な操作であり必ず実施出来るものではありません。

高山ダム